

再評価事業完了報告書(事後評価)

			調書作成年月日		令和 7 年 10 月 30 日																			
			事業担当課		道路課																			
事業名		一般県道大島浪板線 浪板工区道路改良事業		補助・交付金・ 単独の別		補助		事業主体		宮城県														
施行地名		気仙沼市浪板地内						【位置図後掲】		管理主体		宮城県												
根拠法令		道路法第56条																						
事業概要	事業目的																							
	一般県道大島浪板線(浪板工区)は、三陸沿岸道路の浦島大島IC、気仙沼鹿折IC及び国道45号と接続することにより震災復興、救急医療の確保及び地域間交流等に寄与する道路である。 また、当該道路は浪板・大浦地区の防災集団移転団地へのアクセス道路であり気仙沼本土と離島大島を結ぶ唯一の道路でもあるため、津波浸水区域を避けた位置に計画しており、周辺地域における災害時等の緊急避難路及び復興支援道路として必要不可欠な道路である。																							
	事業内容																							
	<table><tr><td>事業着手時 (平成 23 年度)</td><td>【計画概要】 延長 L=2.75km 道路幅員 W=6.0(10.0)m 全体事業費 C=40億円</td><td>【計画諸元】 道路規格 第3種第3級 設計速度 50km/h 計画交通量 3,500台/日</td></tr><tr><td>再評価時 (平成 27 年度)</td><td>【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=64億円</td><td>【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～5,500台/日</td></tr><tr><td>再々評価時 (平成 30 年度)</td><td>【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=74億円</td><td>【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～5,500台/日</td></tr><tr><td>完了時 (令和 2 年度)</td><td>【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=74億円</td><td>【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～5,500台/日</td></tr></table>												事業着手時 (平成 23 年度)	【計画概要】 延長 L=2.75km 道路幅員 W=6.0(10.0)m 全体事業費 C=40億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第3級 設計速度 50km/h 計画交通量 3,500台/日	再評価時 (平成 27 年度)	【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=64億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～5,500台/日	再々評価時 (平成 30 年度)	【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=74億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～5,500台/日	完了時 (令和 2 年度)	【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=74億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～5,500台/日
	事業着手時 (平成 23 年度)	【計画概要】 延長 L=2.75km 道路幅員 W=6.0(10.0)m 全体事業費 C=40億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第3級 設計速度 50km/h 計画交通量 3,500台/日																					
再評価時 (平成 27 年度)	【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=64億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～5,500台/日																						
再々評価時 (平成 30 年度)	【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=74億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～5,500台/日																						
完了時 (令和 2 年度)	【計画概要】 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=74億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～5,500台/日																						
【事業内容の変更状況とその要因】 ・震災後の交通ネットワーク見直しに伴い計画交通量が変更となったため、道路規格、道路幅員及び設計速度を変更。(再評価時)																								

事業費

事業費

	全体事業費		費用負担内訳			
		内用地費及び補償費	国	県	市町村	その他()
			[50 %]	[50 %]	[%]	[%]
事業着手時 (平成23年度)	40 億円	14.1 億円	20.00 億円	20.00 億円	億円	億円
再評価時 (平成27年度)	64 億円	28.2 億円	32.00 億円	32.00 億円	億円	億円
再々評価時 (平成30年度)	74 億円	28.2 億円	37.00 億円	37.00 億円	億円	億円
完了時 (令和2年度)	74 億円	28.2 億円	37.00 億円	37.00 億円	億円	億円

【事業費の変更状況とその要因】

・用地買収面積、物件補償費が増加したもの。(14.1億円)(再評価時)

・追加軟弱地盤対策工及び解析等が増額したもの。(9.9億円)(再評価時)

・労働者不足による函渠工のプレキャスト製品化と軟弱地盤の地盤改良範囲等が増加したもの。(8.5億円)(再々評価時)

・流用土の土質状況による盛土法面植生工法を変更したもの。(1.5億円)(再々評価時)

○事業費増減対照表

	事業着手時 (平成23年度)		再評価時 (平成27年度)		再々評価時 (平成30年度)		完了時 (令和2年度)		増減 (着手時～完了)		変更の 主な理由
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	
本工事費		61.5% 24.6億円		51.8% 33.2億円		58.4% 43.2億円		58.4% 43.2億円		54.7% 18.6億円	
道路改良工	2.80km	24.6億円	2.70km	33.2億円	2.70km	43.2億円	2.70km	43.2億円		18.6億円	要因に 記載
測量及び試験費	一式	3.3% 1.3億円	一式	4.1% 2.6億円	一式	3.5% 2.6億円	一式	3.5% 2.6億円		3.8% 1.3億円	要因に 記載
用地費及び補償費	一式	35.3% 14.1億円	一式	44.1% 28.2億円	一式	38.1% 28.2億円	一式	38.1% 28.2億円		41.5% 14.1億円	要因に 記載
合 計		100% 40億円		100% 64億円		100% 74億円		100% 74億円		100% 34億円	

事業期間

事業着手時 (平成 23 年度)	再 評 価 時 (平成 27 年度)	再 々 評 価 時 (平成 30 年度)			
事業採択予定年度	H. 23 年度	事業採択年度	H. 23 年度	事業採択年度	H. 23 年度
用地買収着手予定年度	H. 24 年度	用地買収着手年度	H. 24 年度	用地買収着手年度	H. 24 年度
工事着手予定年度	H. 24 年度	工事着手年度	H. 24 年度	工事着手年度	H. 24 年度
		計画変更実施(予定)年度	H. - 年度	計画変更実施(予定)年度	H. - 年度
完成予定年度	H. 29 年度	完成予定年度	H. 30 年度	完成予定年度	H. 31 年度
完了時 (令和 2 年度)					
事業採択年度	H. 23 年度				
用地買収着手年度	H. 24 年度				
工事着手年度	H. 24 年度				
完成年度	R. 2 年度				

【事業期間変更の要因】

・追加の軟弱地盤対策工等が増加したため。(再評価時:H29⇒H30)

・地盤改良範囲及び盛土法面植生工法等の増加、変更したため。(再々評価時:H30⇒H31)

・用地取得に時間を要したため。(完了時:H31⇒R2)

事業概要

施設管理状況

- 令和2年10月5日供用開始以降、道路管理計画書に基づき、週2回の道路パトロールを実施し、道路の損傷や異常箇所を発見した場合には、速やかに補修するなど適正に維持管理を行っている。
- 令和5年度より道路利用者が手軽に異常箇所を通報できるインフラ異常箇所通報システムの運用、令和6年度よりAIによる効率的な路面調査を実施し、DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した道路維持管理を行っている。

事業効果

○効果の発現状況

①車両通行の安全の確保

現道の(一)大島浪板線は狭隘でカーブも多く、車両の交互通行が困難な道路であったが、当該道路の整備により車両及び歩行者の安全が確保されている。

②津波避難路としての機能確保

現道の(一)大島浪板線は、東日本大震災時の津波により浸水被害を受けたが、当該道路は津波浸水範囲外に整備したことで、津波避難路としての機能が確保されている。

③離島大島からのアクセス確保

(一)大島浪板線は、離島大島から気仙沼本土へのアクセス道路であり、当該事業の整備効果により、大島から気仙沼市街地等への移動時間が[※]短縮されている。

[※]救急医療機関への移動時間で比較した場合、20分程度時間短縮した。

④三陸沿岸道路へのアクセス向上

(一)大島浪板線は、三陸沿岸道路ICへのアクセス道路であり、三陸復興国立公園などの観光資源へのアクセスや地域産業の物流ルートとしての利便性の向上が図られている。

○現道及び当該道路の交通量(24時間あたり)

H27センサス(供用前)

R3センサス(供用後)

平日：1,014台/日

⇒3,343台/日

(開通前との比較:平日)

(約2,300台増加))

○社会経済情勢の変化

- 大島大橋は令和元年4月7日に供用開始し、大島への観光客数が供用開始前は平均、約10万人/年に対し、供用開始後の観光客数は平均、約35万人/年と大幅に増加した。(参考:宮城県観光統計概要より)
- 当該事業(一)大島浪板線浪板工区道路改良事業は令和2年10月5日に全面供用した。
- 当該事業と隣接する三陸沿岸道路の浦島大島ICを含む、気仙沼IC～唐桑半島ICは令和3年3月26日に供用開始している。
- 現在、観光名所である亀山山頂部へのアクセス手段となるモノレール整備が進められており、今後更なる観光客の増加が見込まれる。

有効性

事業の有効性	○地元の意見、満足度		
	〈総評〉 急病時の救急搬送や災害時等に制約されていた利便性、安全性が向上し、三陸沿岸道路を含めたアクセス向上により観光客を含む道路利用者が大幅に増加した。 〈代表的な意見〉 - 震災時に孤立した大島地区と本土を陸路でつなぎ、「命の道」として安心感が格段に向上した。 - 救急搬送などの緊急対応も格段にスムーズになった。 - フェリーは悪天候時欠航していたが、道路は通行止めになることがないのでありがたい。 - アクセスが向上し、仙台圏からの観光客が多く、大島全体が活性化している。		
事業の効率性	費用対効果		
	費用対効果分析結果：（再々評価時 平成30年、基準年 平成30年）$B/C=1.08$ （完了後 令和2年、基準年 令和7年）$B/C=1.13$ ※再々評価時までのB/Cは浪板工区道路改良事業単体、完了時のB/Cは令和3年11月に国からの通知により、「複数の区間又は箇所を一体とした評価の運用」が改定されたため、大島架橋事業及び浪板工区道路改良事業の一体的に効果を発揮する道路ネットワークで算出している。		
影響と対策	影響と対策		
	- 道路改良の盛土法面において、適宜、在来種を選定することにより、周辺生態系との調和を図った。 - 工事施工において、低騒音振動重機を使用し、周辺環境への騒音・振動に配慮した。 - 工事の発生水において、流出による水質汚濁防止等のため、沈砂池による土砂沈降、分離後、適切に処理した。 - 防護柵等の道路附属物において、ダークブラウン色を採用することにより、周辺景観との融和を図った。		
再評価部会意見への対応状況	再評価実施状況		
	再評価実施年度		平成27 年度
	答申	答申	継続妥当
		条件	—
	別紙意見	1 審議対象事業の実施に関する意見	
		今後の建設工事に当たっては、復興支援道路をはじめとする当該事業の目的を踏まえた迅速な施工を行い、早期完成に努めること。	
		2 今後の事業実施に関する意見	
	評価結果	今後とも、公共事業の実施に当たっては、必要とされる規模や仕様を十分に精査し、コストの削減に努めること。	
		また、費用便益の分析に当たっては、国のマニュアル等を参考にするだけでなく、個別事業の内容に即した分析を加えるなど、その妥当性の確保に努めること。	
		併せて、公共事業の推進に当たっての地元との調整時期など、今回の事業実施に際して判明した課題については、他の事業の参考となるよう、要因の分析を行うとともに、情報の共有を図ること。	
再評価部会意見への対応状況	評価結果	評価結果	事業継続
		対応方針	—
	別紙意見に対する対応方針	1 審議対象事業の実施に関する意見への対応方針	
		今後の建設工事に当たっては、復興支援道路をはじめとする当該事業の目的を踏まえ、引き続き、迅速な施工を行い、早期完成に努める。	
		2 今後の事業実施に関する意見への対応方針	
	結果	今後とも、公共事業の実施に当たっては、必要とされる構造物の規模や仕様を十分に精査するなどコスト削減に努める。	
		また、費用便益の分析については、国のマニュアル等を参考にするだけでなく、個別事業の内容に即した追加の費用や便益の計上可能性等を検討した上で分析を行い、その妥当性の確保に努める。	
		さらに、今回の復興事業のように、複数の事業が関連する場合に早期に地元計画を示すためには、あらかじめ将来のまちづくりの青写真等について住民合意を得ておくことの重要性を確認したことから、今後の事業の参考となるよう情報の共有を図る。	

再
評
価
部
会
意
見
へ
の
対
応
状
況

再々評価実施状況

再々評価実施年度		平成30 年度	
答 申	答申	継続妥当	
	条件	－	
	別紙意見	1 審議対象事業の実施に関する意見	
		無し	
		2 今後の事業実施に関する意見	
評 価 結 果	評価結果	事業継続	
		対応方針	
	別紙意見 に対する 対応方針	1 審議対象事業の実施に関する意見への対応方針	
		無し	
		2 今後の事業実施に関する意見への対応方針	
(1)事業全般 事業の計画及び実施に当たっては、コスト削減に努めるとともに、事業費の見積り精度を高めるために、各関係機関との事前協議などの手続を十分に行うなどして、事前精査に努めること。			

再
評
価
部
会
意
見
へ
の
対
応
状
況

対応状況

1 審議対象事業の実施に関する意見への対応状況
無し

2 今後の事業実施に関する意見への対応状況
(1)事業全般
近隣事業との調整による建設発生土の有効利用やライフサイクルコスト削減を考慮した構造の見直し、アスファルト舗装の長寿命化(耐用年数20年の設計)などによるコストの削減を図った。
みやぎスマイルロードプログラムに基づくスマイルサポーター1団体が、除草・清掃を定期活動しており、維持管理コストの低減が図れている。なお、今後もみやぎスマイルロードプログラムの積極的に活用し、更なる維持管理コストの低減を目指す。

今
後
の
課
題
等

事業目的の達成状況等の総括・今後の課題と対応策等

○事業目的の達成状況等の総括
当該事業の完成・供用により、大島から市街地外への移動時間が※短縮されたこと、三陸沿岸道路の浦島大島IC、気仙沼鹿折IC及び国道45号と接続することにより、緊急医療などの安全性確保、地域産業振興、観光交流の活性化等支援が図られている。
※救急医療機関への移動時間で比較した場合、20分程度時間短縮した。
また、当該道路は津波浸水区域を避けた位置で道路を築造しており、供用後、緊急輸送道路に指定された。地域災害時における物資供給等の緊急的な輸送等を円滑かつ確実に実施することが可能となっている。

○今後の同種事業に対する課題と対応策等
当該事業の推進に当たっては、軟弱地盤対策工などの要因により事業費の増額や事業期間の延伸に至った。今後は平成30年度より運用された国土地盤情報データベース等を活用することによって、事業箇所周辺の既存地質調査結果をより多く収集することが可能となり、事前の地質調査の的確な実施や関係機関への専門的な技術に関するヒアリングなどを実施することで、事業費の見積りの精度を高め、綿密な計画を策定するよう努める。
函渠工について、当初は現場打ちコンクリートで計画していたが、労働者不足が顕著となり、事業進捗を図るためプレキャスト製品を採用したことにより事業費の増額が生じた。当初から綿密な計画を策定し、全体工程を管理したうえで、コスト削減及び省力化の図れる技術の採用検討を進めていく。
当該事業を推進して培った技術的課題の解決策などの知識・経験については、庁内において情報共有し、土木技術の継承に努めていく。

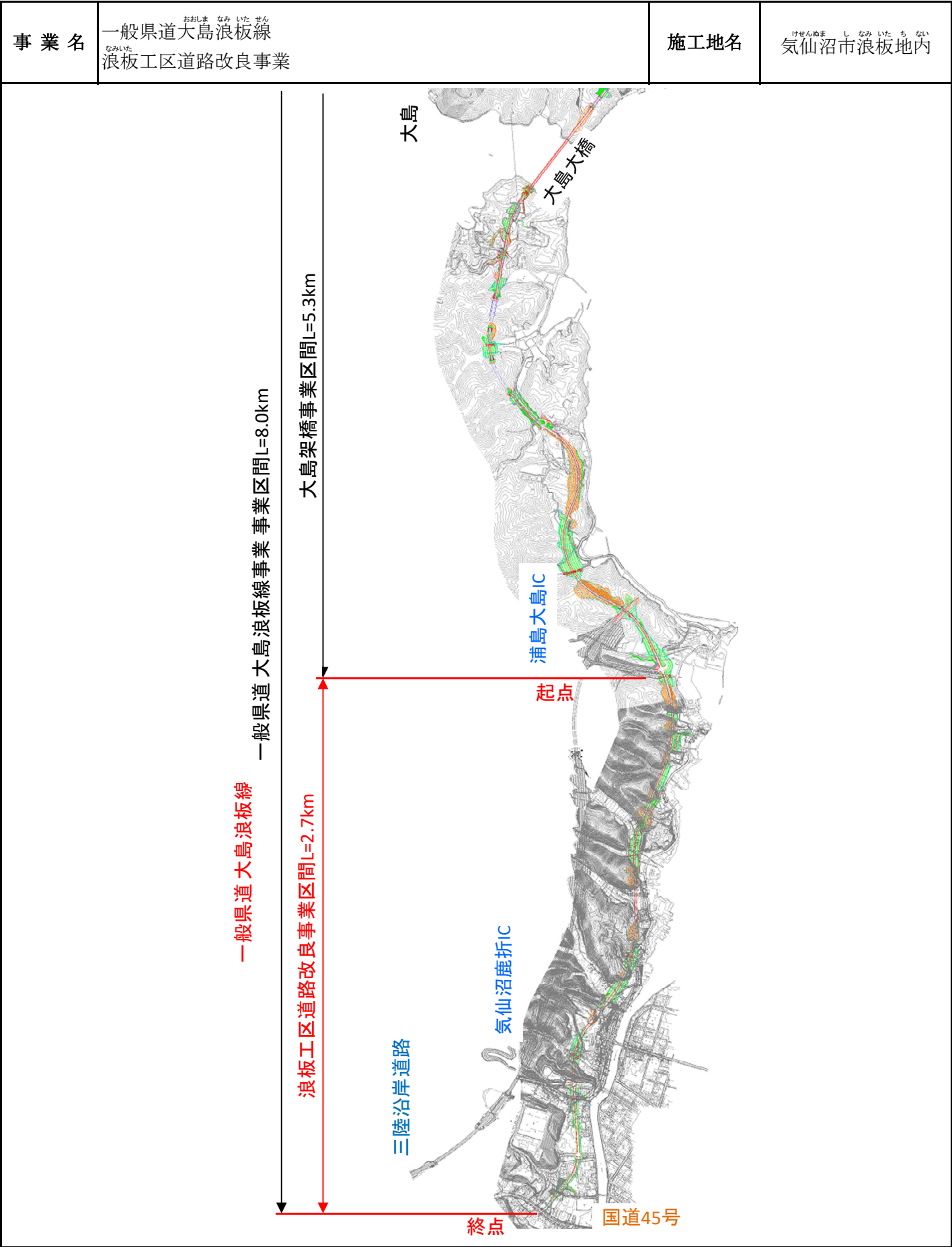
位

置

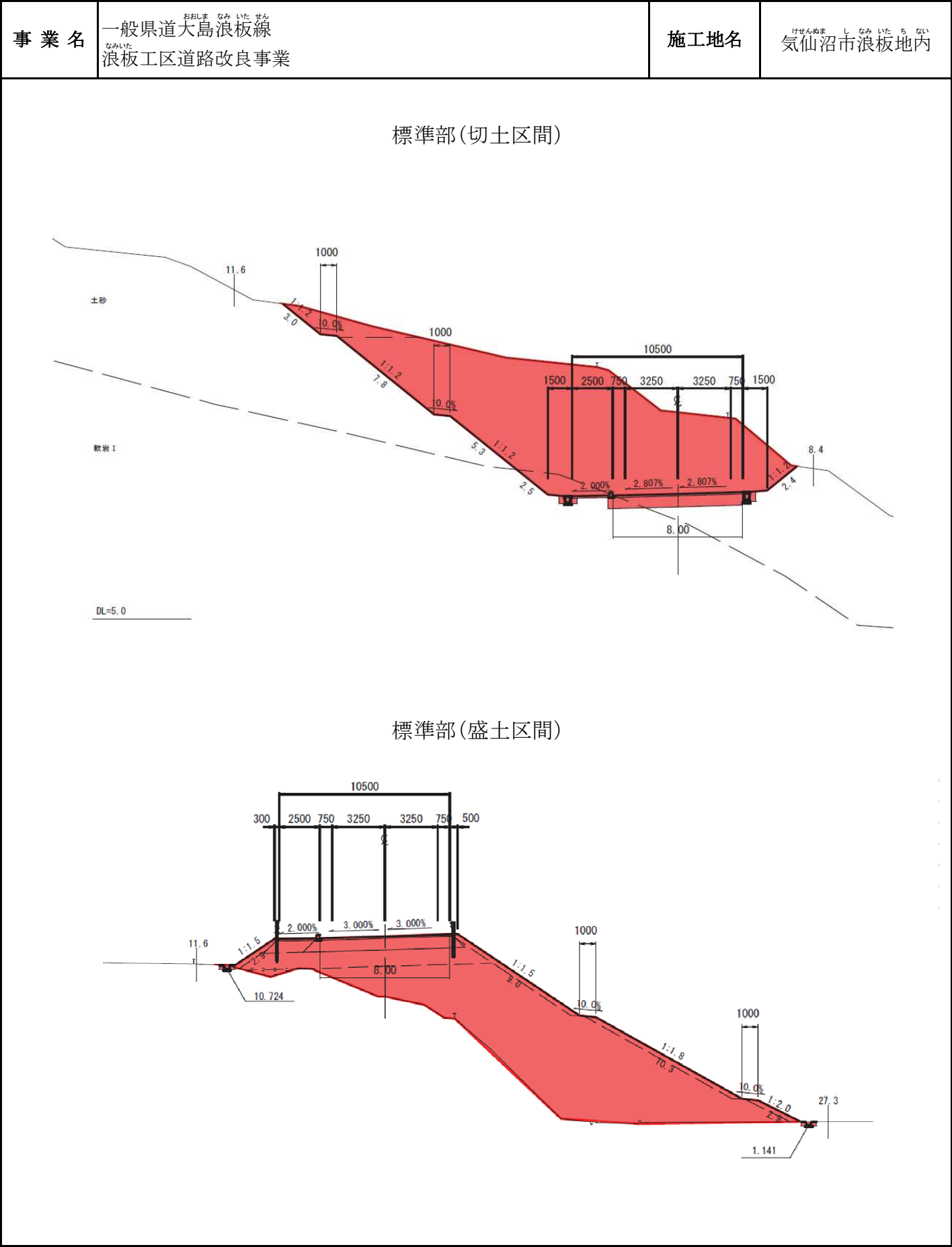
図



事業概要図



事業概要図



事業完成後の状況等

事業名	一般県道 ^{おおしま なみ いた せん} 大島浪板線 浪板工区道路改良事業	施工地名	^{けせんぬま し なみ いた ち ない} 気仙沼市浪板地内
-----	---	------	--



現道写真
狭隘部ですれ違い困難状況



現道写真
狭隘部ですれ違い困難状況

事業完成後の状況等

事業名	一般県道 ^{おおしま なみ いた せん} 大島浪板線 浪板工区道路改良事業	施工地名	^{けせんぬま し なみ いた ち ない} 気仙沼市浪板地内
-----	---	------	--



完成写真(国道45号交差点)
(終点側から起点方向を望む)



(事業中間地点から起点方向を望む)

(参考資料3)

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・B P・その他の別
(一)大島浪板線	大島架橋事業 浪板工区道路改良事業	L=8.0km		B P

将来推計交通量 (台/日)	車線数	事業主体
1,400~5,100	2	宮城県

① 費 用

	事業費	維持管理費	更新費	合 計
基 準 年	令和7年度			
単純合計	239.17億円	19.24億円	0.00億円	258.41億円
基準年における 現在価値 (C)	375.70億円	10.97億円	0.00億円	386.67億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和7年度			
供 用 年	平成31年/令和元年度			
単年便益 (初年便益)	14.46億円	1.62億円	0.13億円	16.21億円
基準年における 現在価値 (B)	388.21億円	43.59億円	3.54億円	435.34億円

③ 結 果

費用便益比 (B/C)	1.13 〔4%〕	[参考] 1.45 〔2%〕	[参考] 1.70 〔1%〕
経済的純現在価値 (B-C)	49 億円 〔4%〕	[参考] 172 億円 〔2%〕	[参考] 262 億円 〔1%〕
経済的内部収益率 (EIRR)	4.6%		

※〔〕内は社会的割引率

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

(参考資料3)

事業名：一般県道 大島浪板線（大島架橋・浪板工区）

(推計時点 R22 年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 (バイパス等) L=8.03km		交通量※ ¹	[台/日]	0	2,400
		走行時間※ ²	[分]	0.0	10.7
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	0.00	5.42
②主な周辺道路※ ⁴	大島汽船 フェリー L=7.15km	交通量	[台/日]	1,400	0
		走行時間	[分]	42.9	0.0
		走行時間費用	[億円/年]	12.58	0.00
	【現道】 (一)大島 波板線 L=4.95km	交通量	[台/日]	1,700	0
		走行時間	[分]	9.9	0.0
		走行時間費用	[億円/年]	3.33	0.00
	国道45号 L=3.10km	交通量	[台/日]	5,800	5,500
		走行時間	[分]	3.8	3.8
		走行時間費用	[億円/年]	4.61	4.38
	(主)気仙沼 唐桑線 L=2.06km	交通量	[台/日]	6,100	5,600
		走行時間	[分]	3.7	3.6
		走行時間費用	[億円/年]	4.48	4.04
	気仙沼市道 L=1.01km	交通量	[台/日]	3,200	1,900
		走行時間	[分]	1.7	1.7
		走行時間費用	[億円/年]	1.14	0.68
③その他道路合計		走行時間費用	[億円/年]	13,751.81	13,749.81

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：5,591.57km	走行時間短縮便益	[億円/年]	13,777.95	13,764.32	13.63

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

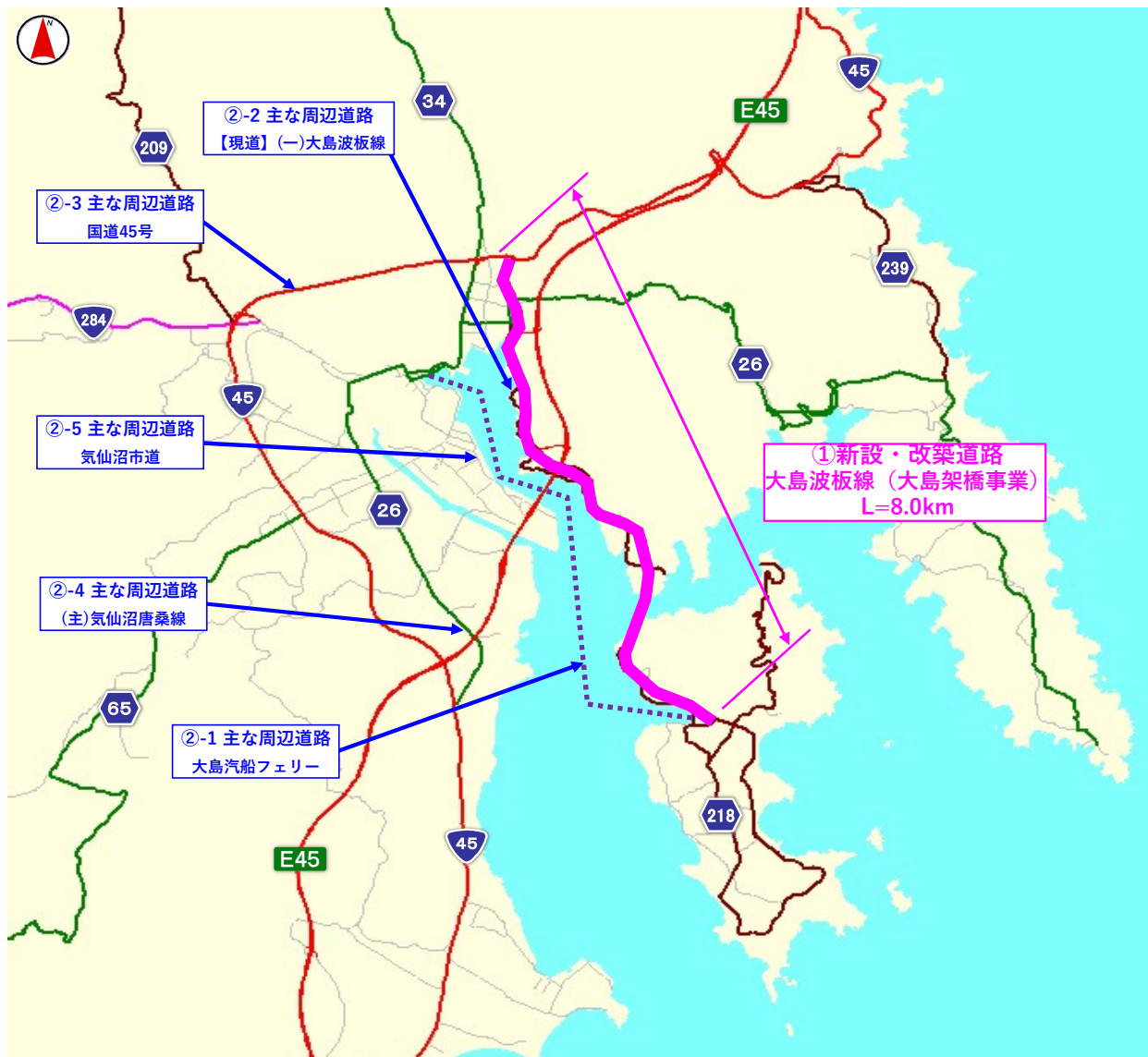
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：一般県道 大島浪板線(大島架橋・浪板工区)

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和7年8月 国土交通省 道路局 都市局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	令和7年度		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 ☒ (R22)		
		複数時点での推計 ☐		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H27センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
			☐	
	開発交通量の考慮	無	☒	
		有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	☐	
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
その他()				
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	☒		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度	☐		
	採用理由を記載			
	その他()	☐		

事業名：一般県道 大島浪板線(大島架橋・浪板工区)

(3)

	項目	チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	☐
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数	() %
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	☐
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	() 日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒	
その他 ()		☐		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	☒		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☐		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	☒		
	考慮する	☐		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

事業名：一般県道 大島浪板線(大島架橋・浪板工区)

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☒	
		標準投資パターンを採用	☐	
		その他()	☐	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 宮城県 of 維持管理費実績に基づき算出		
	更新費	更新費の設定根拠を記載 更新対象なしのため考慮しない		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		☒
		考慮する		☐
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他 上記のほか、B/Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。 				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)										
箇所名: 一般県道 大島浪板線(大島架橋・浪板工区)										
		単価(億円)		延長(km)		単純単価(億円)				
		0.053		8.00		0.42				
年次	年度	社会的割引率	割引率	GDPデフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単純単価	現在単価	単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
ー8年目	H 23	4%	1.7317	97.2	2.86	5.45				
ー7年目	H 24	4%	1.6651	96.4	21.05	38.94				
ー6年目	H 25	4%	1.6010	96.4	26.29	46.77				
ー5年目	H 26	4%	1.5395	98.7	37.07	61.93				
ー4年目	H 27	4%	1.4802	100.2	49.22	77.87				
ー3年目	H 28	4%	1.4233	100.2	33.66	51.21				
ー2年目	H 29	4%	1.3686	100.5	27.06	39.46				
ー1年目	H 30	4%	1.3159	100.4	7.68	10.78				
供用開始年次	R 1	4%	1.2653	101.2	34.29	45.92	0.38	0.52		
1年目	R 2	4%	1.2167	101.9			0.38	0.49		
2年目	R 3	4%	1.1699	101.8			0.38	0.47		
3年目	R 4	4%	1.1249	102.7			0.38	0.45		
4年目	R 5	4%	1.0816	107.1			0.38	0.42		
5年目	R 6	4%	1.0400	107.1			0.38	0.40		
6年目	R 7	4%	1.0000	107.1			0.38	0.38		
7年目	R 8	4%	0.9615	107.1			0.38	0.37		
8年目	R 9	4%	0.9246	107.1			0.38	0.36		
9年目	R 10	4%	0.8890	107.1			0.38	0.34		
10年目	R 11	4%	0.8548	107.1			0.38	0.33		
11年目	R 12	4%	0.8219	107.1			0.38	0.32		
12年目	R 13	4%	0.7903	107.1			0.38	0.30		
13年目	R 14	4%	0.7599	107.1			0.38	0.29		
14年目	R 15	4%	0.7307	107.1			0.38	0.28		
15年目	R 16	4%	0.7026	107.1			0.38	0.27		
16年目	R 17	4%	0.6756	107.1			0.38	0.26		
17年目	R 18	4%	0.6496	107.1			0.38	0.25		
18年目	R 19	4%	0.6246	107.1			0.38	0.24		
19年目	R 20	4%	0.6006	107.1			0.38	0.23		
20年目	R 21	4%	0.5775	107.1			0.38	0.22		
21年目	R 22	4%	0.5553	107.1			0.38	0.21		
22年目	R 23	4%	0.5339	107.1			0.38	0.21		
23年目	R 24	4%	0.5134	107.1			0.38	0.20		
24年目	R 25	4%	0.4936	107.1			0.38	0.19		
25年目	R 26	4%	0.4746	107.1			0.38	0.18		
26年目	R 27	4%	0.4564	107.1			0.38	0.18		
27年目	R 28	4%	0.4388	107.1			0.38	0.17		
28年目	R 29	4%	0.4220	107.1			0.38	0.16		
29年目	R 30	4%	0.4057	107.1			0.38	0.16		
30年目	R 31	4%	0.3901	107.1			0.38	0.15		
31年目	R 32	4%	0.3751	107.1			0.38	0.14		
32年目	R 33	4%	0.3607	107.1			0.38	0.14		
33年目	R 34	4%	0.3468	107.1			0.38	0.13		
34年目	R 35	4%	0.3335	107.1			0.38	0.13		
35年目	R 36	4%	0.3207	107.1			0.38	0.12		
36年目	R 37	4%	0.3083	107.1			0.38	0.12		
37年目	R 38	4%	0.2965	107.1			0.38	0.11		
38年目	R 39	4%	0.2851	107.1			0.38	0.11		
39年目	R 40	4%	0.2741	107.1			0.38	0.11		
40年目	R 41	4%	0.2636	107.1			0.38	0.10		
41年目	R 42	4%	0.2534	107.1			0.38	0.10		
42年目	R 43	4%	0.2437	107.1			0.38	0.09		
43年目	R 44	4%	0.2343	107.1			0.38	0.09		
44年目	R 45	4%	0.2253	107.1			0.38	0.09		
45年目	R 46	4%	0.2166	107.1			0.38	0.08		
46年目	R 47	4%	0.2083	107.1			0.38	0.08		
47年目	R 48	4%	0.2003	107.1			0.38	0.08		
48年目	R 49	4%	0.1926	107.1			0.38	0.07		
49年目	R 50	4%	0.1852	107.1	-14.16	-2.62	0.38	0.07		
合 計					225.02	375.70	19.24	10.97	0.00	0.00
単純事業費計					239.17		19.24		0.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも

全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

箇所名：一般県道 大島浪板線(大島架橋・浪板工区)

便益の現在価値算定表

年次 (基準年)	年度 R7	総走行台々の年次別伸び率 (南東北7都府)			社会的 割引率	割引率 (A)	GDP 7フル-9	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車	小型貨物	普通貨物				乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②		
供用開始年次	R 1	0.99623	0.98431	1.01122	0.99628	4%	1.2653	8.01	3.03	3.42	14.46	19.37	0.92	0.30	0.39	1.62	2.16	0.13	18.21
1年目	R 2	0.99622	0.98406	1.01110	0.99627	4%	1.2167	7.98	2.98	3.46	14.42	18.44	0.92	0.29	0.40	1.61	2.06	0.13	16.17
2年目	R 3	0.99620	0.98380	1.01098	0.99625	4%	1.1699	7.95	2.94	3.49	14.38	17.40	0.92	0.29	0.40	1.61	1.98	0.13	16.16
3年目	R 4	0.99619	0.98353	1.01086	0.99624	4%	1.1249	7.92	2.89	3.53	14.34	16.82	0.91	0.28	0.41	1.60	1.88	0.13	16.08
4年目	R 5	0.99618	0.98326	1.01074	0.99623	4%	1.0816	7.89	2.84	3.57	14.30	15.87	0.91	0.28	0.41	1.60	1.73	0.14	16.03
5年目	R 6	0.99616	0.98297	1.01063	0.99621	4%	1.0406	7.86	2.79	3.61	14.26	15.43	0.91	0.27	0.42	1.60	1.66	0.13	15.99
6年目	R 7	0.99615	0.98268	1.01052	0.99620	4%	1.0000	7.83	2.74	3.64	14.22	14.92	0.90	0.27	0.42	1.59	1.59	0.13	15.94
7年目	R 8	0.99613	0.98237	1.01041	0.99618	4%	0.9615	7.80	2.69	3.68	14.18	13.63	0.90	0.26	0.42	1.59	1.53	0.13	15.90
8年目	R 9	0.99612	0.98206	1.01030	0.99617	4%	0.9248	7.77	2.65	3.72	14.14	13.07	0.90	0.26	0.43	1.59	1.47	0.13	15.85
9年目	R 10	0.99610	0.98173	1.01019	0.99615	4%	0.8890	7.74	2.60	3.76	14.10	12.51	0.89	0.25	0.43	1.58	1.41	0.13	15.81
10年目	R 11	0.99609	0.98139	1.01009	0.99614	4%	0.8548	7.71	2.55	3.80	14.06	12.01	0.89	0.25	0.44	1.58	1.35	0.13	15.76
11年目	R 12	0.99607	0.98104	1.00999	0.99612	4%	0.8219	7.68	2.50	3.83	14.01	11.52	0.89	0.25	0.44	1.57	1.29	0.13	15.72
12年目	R 13	0.99408	0.98904	1.00886	0.99562	4%	0.7903	7.63	2.47	3.87	13.98	11.05	0.88	0.24	0.45	1.57	1.24	0.13	15.67
13年目	R 14	0.99404	0.98892	1.00878	0.99560	4%	0.759	7.59	2.45	3.90	13.94	10.59	0.88	0.24	0.45	1.57	1.19	0.13	15.63
14年目	R 15	0.99400	0.98880	1.00871	0.99558	4%	0.7307	7.54	2.42	3.94	13.90	10.15	0.87	0.24	0.45	1.56	1.14	0.13	15.59
15年目	R 16	0.99397	0.98867	1.00863	0.99557	4%	0.7026	7.50	2.39	3.97	13.86	9.74	0.87	0.23	0.46	1.56	1.09	0.13	15.54
16年目	R 17	0.99393	0.98854	1.00856	0.99555	4%	0.6756	7.45	2.36	4.00	13.82	9.34	0.86	0.23	0.46	1.55	1.05	0.13	15.50
17年目	R 18	0.99389	0.98841	1.00848	0.99553	4%	0.6496	7.41	2.34	4.04	13.78	8.95	0.85	0.23	0.47	1.55	1.01	0.13	15.46
18年目	R 19	0.99386	0.98827	1.00841	0.99551	4%	0.6246	7.36	2.31	4.07	13.74	8.58	0.85	0.23	0.47	1.55	0.97	0.12	15.41
19年目	R 20	0.99382	0.98813	1.00834	0.99549	4%	0.6006	7.31	2.28	4.11	13.70	8.23	0.84	0.22	0.47	1.54	0.93	0.12	15.37
20年目	R 21	0.99378	0.98799	1.00827	0.99546	4%	0.5775	7.27	2.25	4.14	13.66	7.87	0.84	0.22	0.48	1.54	0.89	0.12	15.33
21年目	R 22	0.99374	0.98784	1.00821	0.99544	4%	0.5553	7.22	2.23	4.17	13.63	7.57	0.83	0.22	0.48	1.53	0.85	0.12	15.28
22年目	R 23	0.99067	0.99180	0.99989	0.99271	4%	0.5339	7.16	2.21	4.17	13.54	7.23	0.83	0.22	0.48	1.52	0.81	0.12	15.19
23年目	R 24	0.99059	0.99174	0.99989	0.99266	4%	0.5134	7.09	2.19	4.17	13.45	6.91	0.82	0.21	0.48	1.51	0.78	0.12	15.09
24年目	R 25	0.99050	0.99167	0.99989	0.99260	4%	0.4936	7.02	2.17	4.17	13.37	6.60	0.81	0.21	0.48	1.50	0.74	0.12	14.99
25年目	R 26	0.99041	0.99160	0.99989	0.99255	4%	0.4746	6.95	2.15	4.17	13.28	6.30	0.80	0.21	0.48	1.50	0.71	0.12	14.90
26年目	R 27	0.99031	0.99153	0.99989	0.99249	4%	0.4564	6.89	2.14	4.17	13.19	6.02	0.80	0.21	0.48	1.49	0.68	0.12	14.80
27年目	R 28	0.99022	0.99145	0.99989	0.99243	4%	0.4388	6.82	2.12	4.17	13.11	5.75	0.79	0.21	0.48	1.48	0.65	0.12	14.70
28年目	R 29	0.99012	0.99138	0.99989	0.99238	4%	0.4220	6.75	2.10	4.17	13.02	5.50	0.78	0.21	0.48	1.47	0.62	0.12	14.61
29年目	R 30	0.99002	0.99131	0.99989	0.99232	4%	0.4057	6.68	2.08	4.17	12.94	5.25	0.77	0.20	0.48	1.46	0.59	0.12	14.51
30年目	R 31	0.98992	0.99123	0.99989	0.99226	4%	0.3901	6.62	2.06	4.17	12.85	5.01	0.76	0.20	0.48	1.45	0.56	0.12	14.41
31年目	R 32	0.98982	0.99115	0.99989	0.99220	4%	0.3751	6.55	2.04	4.17	12.76	4.79	0.76	0.20	0.48	1.44	0.54	0.11	14.32
32年目	R 33	0.98972	0.99107	0.99989	0.99214	4%	0.3607	6.48	2.03	4.17	12.68	4.57	0.75	0.20	0.48	1.43	0.51	0.11	14.22
33年目	R 34	0.98961	0.99099	0.99989	0.99207	4%	0.3468	6.42	2.01	4.17	12.59	4.37	0.74	0.20	0.48	1.42	0.49	0.11	14.12
34年目	R 35	0.98950	0.99091	0.99989	0.99201	4%	0.3335	6.35	1.99	4.17	12.51	4.17	0.73	0.20	0.48	1.41	0.47	0.11	14.03
35年目	R 36	0.98939	0.99083	0.99989	0.99195	4%	0.3207	6.28	1.97	4.17	12.42	3.98	0.73	0.19	0.48	1.40	0.45	0.11	13.93
36年目	R 37	0.98927	0.99074	0.99989	0.99188	4%	0.3083	6.21	1.95	4.17	12.33	3.80	0.72	0.19	0.48	1.39	0.43	0.11	13.83
37年目	R 38	0.98916	0.99066	0.99989	0.99181	4%	0.2965	6.15	1.94	4.17	12.25	3.63	0.71	0.19	0.48	1.38	0.41	0.11	13.74
38年目	R 39	0.98904	0.99057	0.99989	0.99175	4%	0.2851	6.08	1.92	4.17	12.16	3.47	0.70	0.19	0.48	1.37	0.39	0.11	13.64
39年目	R 40	0.98892	0.99048	0.99989	0.99168	4%	0.2741	6.01	1.90	4.17	12.08	3.31	0.69	0.19	0.48	1.36	0.37	0.11	13.54
40年目	R 41	0.98879	0.99039	0.99989	0.99161	4%	0.2636	5.94	1.88	4.17	11.99	3.16	0.69	0.18	0.48	1.35	0.36	0.11	13.45
41年目	R 42	0.98867	0.99029	0.99989	0.99154	4%	0.2534	5.88	1.86	4.17	11.90	3.02	0.68	0.18	0.48	1.34	0.34	0.11	13.35
42年目	R 43	0.98854	0.99020	0.99989	0.99146	4%	0.2437	5.81	1.84	4.16	11.82	2.88	0.67	0.18	0.48	1.33	0.32	0.10	13.25
43年目	R 44	0.98840	0.99010	0.99989	0.99139	4%	0.2343	5.74	1.83	4.16	11.73	2.75	0.66	0.18	0.48	1.32	0.31	0.10	13.16
44年目	R 45	0.98827	0.99000	0.99989	0.99132	4%	0.2253	5.67	1.81	4.16	11.65	2.62	0.66	0.18	0.48	1.31	0.30	0.10	13.06
45年目	R 46	0.98813	0.98990	0.99989	0.99124	4%	0.2168	5.61	1.79	4.16	11.56	2.50	0.65	0.18	0.48	1.30	0.28	0.10	12.96
46年目	R 47	0.98799	0.98980	0.99989	0.99116	4%	0.2083	5.54	1.77	4.16	11.47	2.39	0.64	0.17	0.48	1.29	0.27	0.10	12.87
47年目	R 48	0.98784	0.98969	0.99989	0.99108	4%	0.2003	5.47	1.75	4.16	11.39	2.28	0.63	0.17	0.48	1.28	0.26	0.10	12.77
48年目	R 49	0.98769	0.98959	0.99989	0.99100	4%	0.1926	5.40	1.73	4.16	11.30	2.18	0.62	0.17	0.48	1.27	0.25	0.10	12.67
49年目	R 50	0.98754	0.98948	0.99989	0.99092	4%	0.1852	5.34	1.72	4.16	11.22	2.08	0.62	0.17	0.48	1.26	0.23	0.10	12.58
合 計								343.34	111.67	200.42	655.43	388.21	39.64	10.96	23.10	73.70	43.59	5.92	735.04